

アレルギー疾患医療連携体制の構築に
向けた方向性について

アレルギー疾患医療提供体制に関する記述

■アレルギー疾患対策の方向性等

(平成23年8月 健康局疾病対策課長通知)

- 全ての患者を専門医が診ることは現実的でないため、安定時には身近なかかりつけ医が対応することが望ましい。
- アレルギー疾患の多様性に鑑み、かかりつけ医と専門医療機関間のみならず、かかりつけ医間、専門医療機関間における円滑な医療連携体制の確保を図る。

■アレルギー疾患医療提供体制の在り方について

(平成29年7月 アレルギー疾患医療提供体制の在り方に関する検討会)

- 診療所や一般病院で発症早期や軽症の患者の多くの診療を担うかかりつけ医に、科学的知見に基づく適切な医療に関する情報が常に提供され、適切な治療が決定される環境が構築されることが重要。
- 拠点病院は、診療所での診断・治療や、診療所から紹介を受けた一般病院での診断・治療では病態が安定化しない場合、適宜、関与する。
- 病態が安定化した場合や治療方針に大きな変化がない場合は、かかりつけ医による診療を中心に行うことが望ましい。

第3章 施策の方向性（基本的施策）

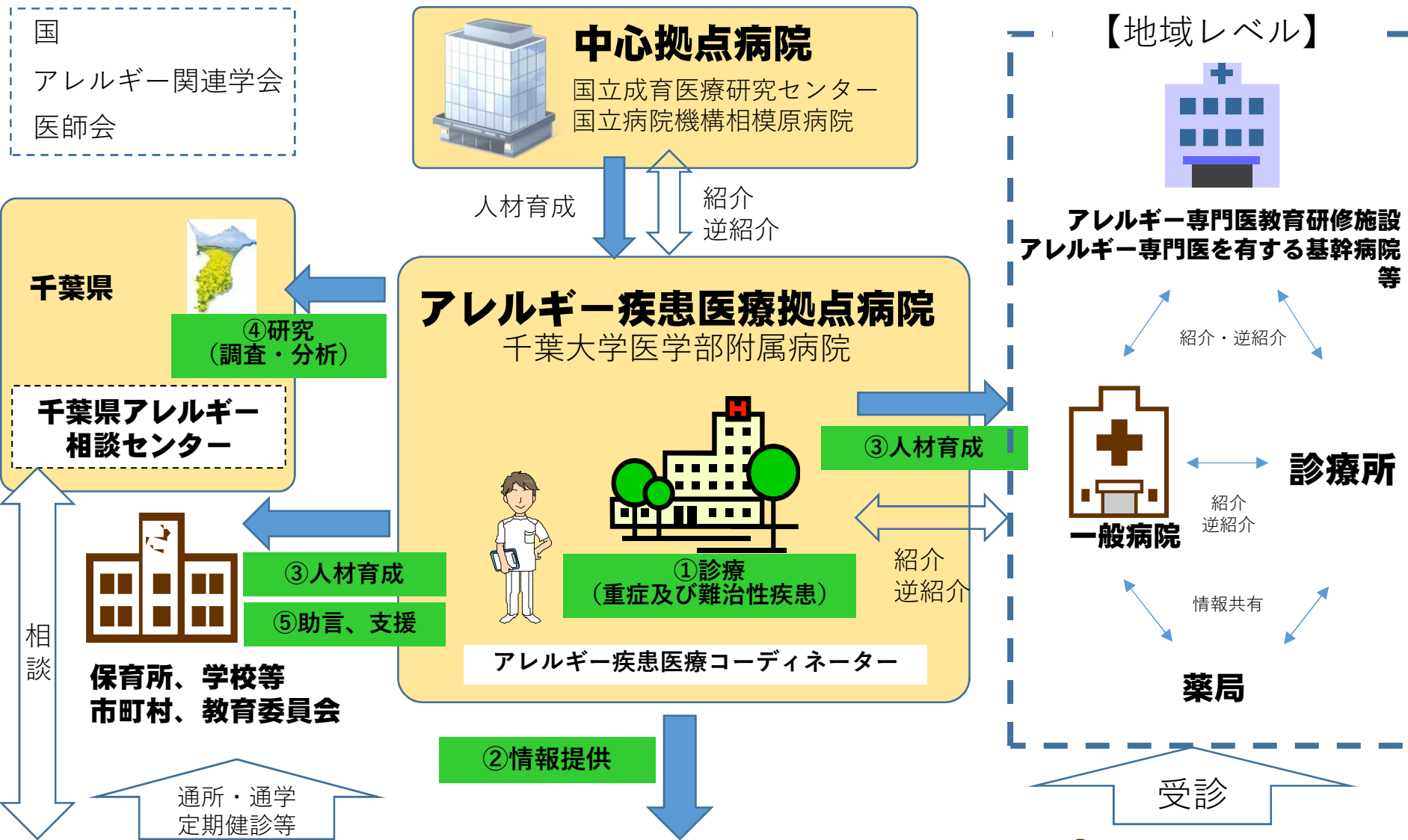
第2節 アレルギー疾患医療を提供する体制の確保

1 医療機関の整備等

（2）アレルギー疾患診療の連携体制の整備

アレルギー疾患を有する者が居住する地域に関わらず、適切なアレルギー疾患医療を受けられるよう、拠点病院、地域の診療所や一般病院のかかりつけ医との間の連携協力体制の構築を推進していきます。

本県におけるアレルギー疾患医療提供体制について (イメージ図)



アレルギー疾患を有する患者



アレルギー疾患医療連携体制の構築に向けた 今後の協議の進め方（案）

- 「アレルギー疾患医療連絡協議会」での協議
 - ・

- 拠点病院「アレルギー疾患診療ネットワーク会議」での協議
 - ・

アレルギー疾患医療連携体制の構築のために 必要な論点とは（協議）

- 現在の診療連携状況を踏まえ、新たに改善・解決すべき事項があるか。
- 医療者側及び患者側からもわかりやすい医療機能情報を示す必要があるか。
 - ・連携推進のために必要な情報とは何か
 - ・診療できるアレルギー疾患
 - ・実施可能な検査 等
- 国は「診療所・一般病院⇔拠点病院」をイメージしているが、居住地域（二次医療圏）ごとに中核的な医療機関（病院・診療所）を位置付ける必要があるか。
 - ・選定基準はどう設定するか。
 - 例：アレルギー専門医教育研修施設
 - アレルギー専門医（内科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科）等の在籍
- その他必要な論点

(参考) 本県におけるアレルギー専門医教育研修施設

		医療圏	施設名	基盤科	科名
1	1	千葉	千葉大学医学部附属病院	内科	アレルギー・膠原病内科
2				小児科	小児科
3				耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉・頭頸部外科
4	2		千葉東病院	内科	アレルギー科
5	3		千葉県こども病院	小児科	アレルギー・膠原病科
6				耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科
7	4		千葉中央メディカルセンター	内科	アレルギー疾患リウマチ科
8	5		千葉市立海浜病院	小児科	小児科
9	6		東葛南部	千葉県済生会習志野病院	内科
10	7	谷津保健病院		小児科	小児科
11	8	新八千代病院		内科	アレルギー呼吸器内科
12	9	東葛北部	化学療法研究所附属病院	内科	呼吸器内科
13	10		順天堂大学医学部附属浦安病院	内科	呼吸器内科
14				小児科	小児科
15	11		千葉愛友会記念病院	小児科	小児科
16	12		東京勤労者医療会東葛病院	小児科	小児科
17	13		小張総合病院	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科
18	14	印旛	成田赤十字病院	内科	リウマチ・アレルギー内科
19	15		東邦大学医療センター佐倉病院	内科	呼吸器内科
20				皮膚科	皮膚科
21	16		下志津病院	小児科	小児科
22	17		日本医科大学千葉北総病院	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科
23	18	香取海匝	国保旭中央病院	内科	アレルギー・リウマチセンター
24	19	安房	亀田総合病院	内科	呼吸器内科
25				内科	リウマチアレルギー内科
26	20	市原	千葉ろうさい病院	小児科	小児科

(参考) 本県におけるアレルギー専門医が在籍する 病院及び診療所数

医療圏		病院		診療所		その他 専門医数
		施設数	専門医数	施設数	専門医数	
1	千葉	13	37	18	18	2
2	東葛北部	10	15	21	21	2
3	東葛南部	13	21	23	23	1
4	印旛	5	17	8	8	1
5	香取海匝	2	5	2	2	
6	山武長生夷隅	4	4	2	2	
7	安房	2	5	2	2	
8	君津	2	2	2	2	
9	市原	3	3	1	1	
	計	54	109	79	79	6

日本アレルギー学会提供「専門医名簿（平成29年8月7日時点）」により作成
 複数の施設に所属する専門医については、それぞれの所属で計上している。
 「その他」は、大学、行政、会社、老健のいずれか

(参考) 「アレルギー疾患医療提供体制の整備に係る調査」項目 (平成29年度実施)

		内容
診断	アレルギー全般	アレルギー同定の検査実施および評価（血液検査、プリックテスト、パッチテスト等）
		アナフィラキシーの原因同定
	肺及び下気道領域	肺機能検査（A）・NO測定（A）・呼吸抵抗測定（A）気道過敏性試験（B）等を用いた呼吸機能の評価
		気管支喘息及び鑑別疾患の正確な診断
	皮膚領域	アトピー性皮膚炎の正確な診断
		重症及び難治性アレルギー性皮膚疾患の正確な診断
	上気道領域	アレルギー性鼻炎の正確な診断
		下気道、眼、皮膚疾患に影響する上気道疾患の正確な診断
	眼領域	アレルギーが関与する眼疾患の正確な診断
	食物アレルギー領域	運動誘発試験を含む食物経口負荷試験の実施および評価
重症および難治性食物アレルギーの診断		
治療	アレルギー全般	アレルギー免疫療法の実施（舌下(A)・皮下(B)）
	肺及び下気道領域	重症及び難治性気管支喘息の治療
	皮膚領域	重症及び難治性のアトピー性皮膚炎・アレルギー性皮膚疾患の治療
	上気道領域	重症及び難治性の下気道、眼、皮膚疾患に影響する上気道疾患の治療
	眼領域	重症及び難治性の眼領域アレルギー疾患の治療
管理	アレルギー全般	重症及び難治性アレルギーの長期管理
	食物アレルギー領域	重症及び難治性食物アレルギー疾患の長期管理

(参考) ちば医療ナビ (千葉県医療情報提供システム)

医療施設から千葉県へ報告された当該医療施設の有する医療及び薬局機能に関する情報について、県民等に分かりやすい形で提供することにより、医療施設の適切な選択を支援するサービス。

■アレルギーに関する医療機能情報

アレルギー科

アレルギー専門医

各基本領域専門医

小児アレルギー疾患

喘息 (成人)

喘息 (小児)

アトピー性皮膚炎

アレルギー性鼻炎

花粉症

食物アレルギー負荷検査

アレルギーの減感作療法

■ 学会・研究会等での公表事項

日本アレルギー学会「アレルギー専門医・指導医一覧」
日本小児科学会「専門医名簿」
日本皮膚科学会「皮膚科専門医マップ」
日本耳鼻咽喉科学会「耳鼻咽喉科専門医を探しましょう！」
食物アレルギー研究会「食物経口負荷試験実施施設検索」 等

■ 患者・家族がアレルギー疾患に関する情報で関心がある事項

(平成29年度第2回インターネットアンケート結果より)
予防策 73.2% アレルギー食品情報 64.2% 医学的知識 63.4%
医療機関情報 42.3% 専門医情報 40.7%

■ アレルギー相談センターに寄せられる相談疾患

(平成29年度相談実績から)
食物アレルギー 50.9% 皮疹 12.9% アトピー性皮膚炎 8.6%
アレルギー性鼻炎・花粉症 3.9% 気管支ぜん息 3.0%